



マーケット・レポート

Weekly Guide 2026.9.7

りそなアセットマネジメントの
YouTubeチャンネルで、
音声付きの解説動画を
ご視聴いただけます！



主要マーケット指標



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

先週は、週末発表の米雇用統計が予想を大幅に上回ったことや原油価格が90ドル超えまで上昇したこと、FRBの9月利上げ観測が高まりました。株式市場は高安マチマチとなる一方、米・欧債券は下落（利回りは上昇）しました。S&P500指数は週間で+0.1%、ナスダック総合指数は同+0.4%、独DAX指数は同▲2.0%、日経平均株価は同▲2.1%で終わりました。10年国債利回りは米国が前週末比+6bpの4.78%、独は+6bpの3.34%に上昇、日本は▲1bpの2.92%で引けました。ドル円は、ベッセント米財務長官の発言などを受け日銀の利上げペースが加速するとの見方が広がり、一時155円台まで円が急伸しました。

今週は、ECB（欧州中央銀行）理事会が開催され、2会合ぶりに0.25%の利上げが決定される見通しです。また、CPI（消費者物価指数）など米インフレ指標の発表を手掛かりに、次週FOMCでの利上げの有無を見極めることとなります。

当面の注目イベント

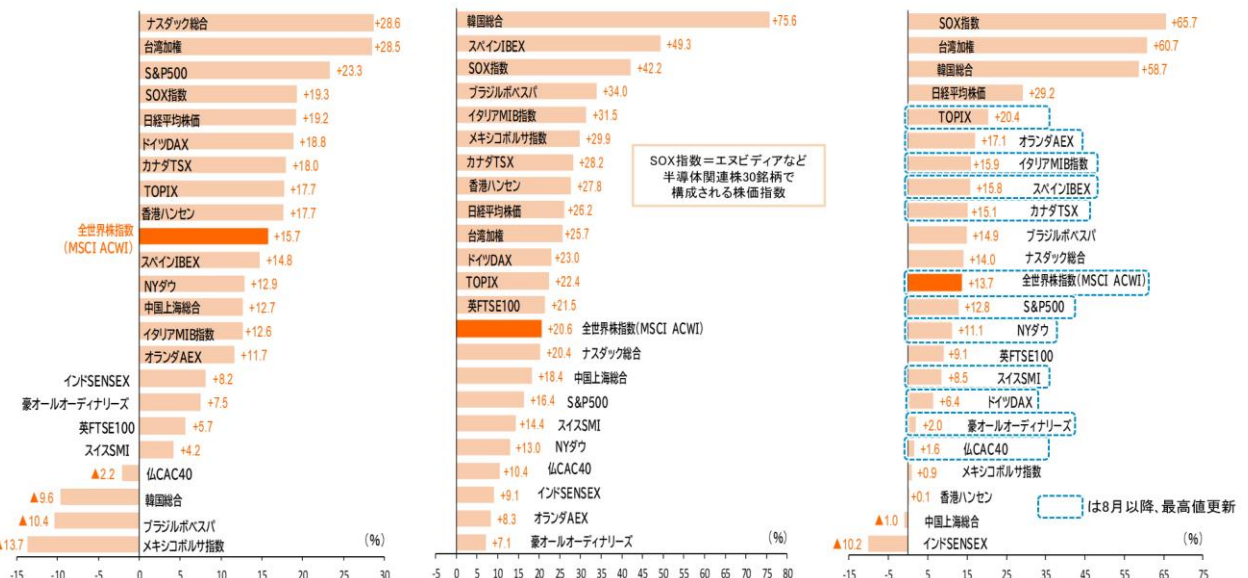
- ◆ 日・7月実質賃金総額 (8日)
- ◆ 米・8月NY連銀消費者期待インフレ率 (8日)
- ◆ 欧・ECB理事会 (10日)
- ◆ 米・8月PPI (10日)
- ◆ 日・8月企業物価 (11日)
- ◆ 米・8月コアCPI (11日)

半導体など成長株の比重が高い株価指数(米ナスダック総合、日経平均株価など)の調整が続く一方、成長株と割安株がバランス良く組み入れられた株価指数(TOPIX、独DAX指数など)では、8月以降も最高値更新がみられます

2024年

2025年

2026年(9月4日まで)



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

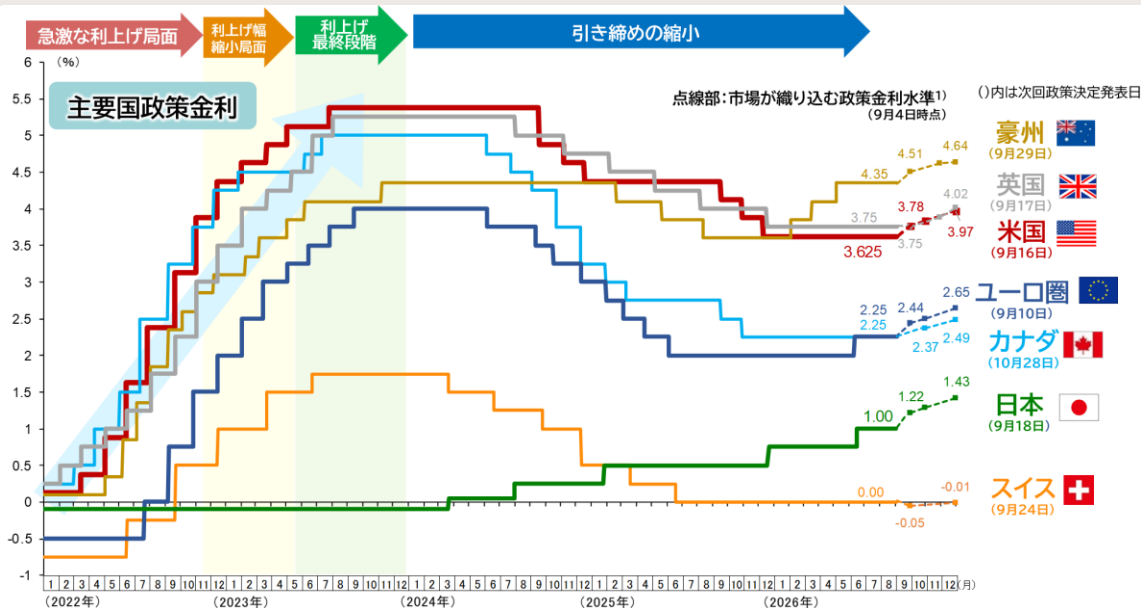
※最終ページの＜当資料に関するご留意事項＞を必ずご覧ください。



りそなアセットマネジメント

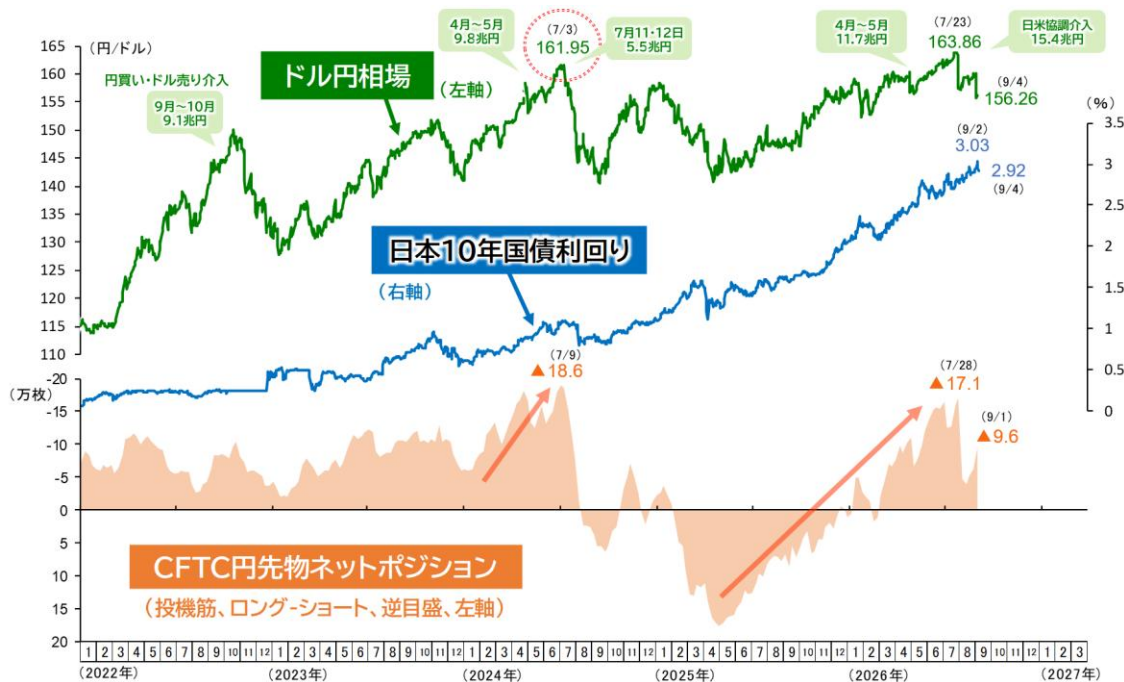
RESONA

今週のECB理事会(10日)では、2会合ぶりに0.25%の利上げが決定され、政策金利は2.5%に引き上げられる見通しです。声明文やラガルド総裁の会見で、更なる利上げの可能性が示唆されるか注目されます



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

ベッセント米財務長官の、「日銀の早期利上げを促す発言」などから、一時1ドル=155円台まで円が急伸しました。米財務省による円安阻止の姿勢を受け、投機筋の円売りポジション解消が進んだとみられます



【出所】ブルームバーグの公表データに基づき、りそなアセットマネジメント作成

次回は 2026年9月14日 発行予定です

〈当資料に関するご留意事項〉

■当資料は、りそなアセットマネジメント株式会社が投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。■当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、りそなアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。なお、掲載されている見解は本資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、事前の連絡なしに変更されることがあります。■投資信託は、値動きのある資産を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元本を割り込むことがあります。■投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および一体としてお渡しする「目論見書補完書面」を必ずご確認くださいのうえご自身でご判断ください。